

平成27年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

山口県

行事名称	文化財防火デー消防演習（赤間神宮）
実施期間・日時	平成28年1月26日（火）10:00～10:30
実施場所	赤間神宮（重要文化財長門本平家物語ほか所在）
主催者	赤間神宮、下関市中央消防署

■実施内容

訓練の想定

赤間神宮境内の龍宮殿3階厨房から天ぷら鍋のかけ忘れにより出火し、東からの強風におあられ、本殿及び宝物殿へ延焼危険がある。また、建物内に逃げ遅れた者が多数発生。

訓練の内容

赤間神宮職員による火災発見、通報、初期消火（消火器）、重要物品（模擬）の搬出を実施。消防署による放水訓練を実施。

参加者及び役割分担

赤間神宮職員	5名：119番通報、初期消火、重要物品の搬出
阿弥陀寺町、園田1町・2町、壇之浦自治会、春帆楼職員	22名：初期消火、重要物品（模擬）の搬出
下関市中央消防署、同伊崎出張所、西消防署	60名：全体統括、放水訓練、救護訓練、講評
下関市教育委員会	3名：文化財搬出確認、現場立会

特に工夫した点

境内建物に備え付けられている大太鼓を活用し、太鼓の連打を近隣自治会及び近隣事業所の応援要請手段とした。また、境内が山裾にあり階段状になっていることから、立地を考慮して梯子車からの梯上放水を実施した。

問題点・課題

今回の訓練で消防計画における自衛消防隊の役割が確認できたと思うが、重要文化財のほか県指定・市指定文化財も含めると搬出すべき物品の数が多く、宝物殿以外の場所に保管しているものもあるため、日ごろから搬出の際の役割分担やルートの確認をしておく必要を感じた。

その他

毎年文化財防火デーにあわせて消防訓練を行うことで、地区住民や文化財所有者の文化財愛護意識の高揚を図り、防災の必要性を確認する機会となっており、次年度以降も継続して実施する。

訓練風景



重要物品の搬出



放水訓練